

事業活動収入の部	科目	予算	決算	差異
	学生生徒等納付金	32,923,110	32,922,714	396
事業活動収入の部	手数料	1,662,800	1,666,381	△ 3,581
	寄付金	323,410	505,508	△ 182,098
事業活動収入の部	経常費等補助金	3,587,260	3,407,995	179,265
	付随事業収入	877,260	1,058,001	△ 180,741
事業活動収入の部	雑収入	890,770	697,365	193,405
	繰出金(教育活動)	0	4,003	△ 4,003
事業活動収入の部	分担金	154,590	163,340	△ 8,750
	教育活動収入計	40,419,200	40,425,307	△ 6,107
事業活動支出の部	科目	予算	決算	差異
	人件費	21,200,680	20,727,253	473,427
事業活動支出の部	教育研究経費	15,724,200	15,081,843	642,357
	管理経費	1,752,970	1,972,283	△ 219,313
事業活動支出の部	徴収不能額等	14,430	31,465	△ 17,035
	繰入金(教育活動)	0	18,738	△ 18,738
事業活動支出の部	教育活動支出計	38,692,280	37,831,582	860,698
	教育活動収支差額	1,726,920	2,593,725	△ 866,805
事業活動収入の部	科目	予算	決算	差異
	受取利息・配当金	107,580	260,725	△ 153,145
事業活動収入の部	その他の教育活動外収入	440	0	440
	繰出金(その他)	6,880	6,156	724
事業活動収入の部	教育活動外収入計	114,900	266,881	△ 151,981
	科目	予算	決算	差異
事業活動支出の部	借入金等利息	0	0	0
	その他の教育活動外支出	0	0	0
事業活動支出の部	繰入金(その他)	0	363	△ 363
	教育活動外支出計	0	363	△ 363
事業活動支出の部	教育活動外収支差額	114,900	266,518	△ 151,618
	経常収支差額	1,841,820	2,860,243	△ 1,018,423

(単位:千円)

科目	予算	決算	差異
資産売却差額	0	741,771	△ 741,771
その他の特別収入	200,000	308,529	△ 108,529
繰出金(施設設備)	350,000	350,000	0
特別収入計	550,000	1,400,300	△ 850,300
科目	予算	決算	差異
資産処分差額	398,250	496,278	△ 98,028
その他の特別支出	0	14,102	△ 14,102
繰入金(施設設備)	0	0	0
特別支出計	398,250	510,380	△ 112,130
特別収支差額	151,750	889,920	△ 738,170
予備費	260,000	260,000	0
基本金組入前当年度収支差額	1,733,570	3,750,163	△ 2,016,593
基本金組入額合計	△ 1,959,690	△ 3,304,200	1,344,510
当年度収支差額	△ 226,120	445,963	△ 672,083
支出準備金取崩額	690,450	635,537	54,913
支出準備金繰入額	△ 463,330	△ 2,092,071	1,628,741
基本金取崩額	0	2,731,902	△ 2,731,902
調整後当年度収支差額	1,000	1,721,331	△ 1,720,331
前年度繰越収支差額	△ 31,905,030	△ 31,905,027	△ 3
翌年度繰越収支差額	△ 31,904,030	△ 30,183,696	△ 1,720,334

(参考)

事業活動収入計	41,084,100	42,092,488	△ 1,008,388
事業活動支出計	39,350,530	38,342,325	1,008,205

2022年度 | 大学予算について

2022年度大学予算は、3月3日開催の予算委員会および大学評議会、3月26日開催の法人評議会、理事会で承認、決定されました。

主な事業は以下のとおりで、詳細な予算額については2022年度事業活動収支予算書のとおりです。

教育研究の充実
教育研究支援システムの構築
教室等マルチメディア環境整備
グローバル・リソース・マネジメント(GRM)事業
赤ちゃん学術センターの共同利用・共同研究拠点化
Comm 5.0-AI・データサイエンス副専攻プログラム
大学院教育プログラムによる社会連携推進

学生生活支援の充実
WEBテスト対策オンラインツールの使用
寒梅館1Fパウダールーム改修
シートクリーナーおよびサニタリーボックスの整備

企画広報・管理運営
WebサイトリニューアルCMS構築
全学ネットワークシステムリプレース
大学案内のスマホアプリ作成

建設事業
寧静館・育真館改築等工事
京田辺キャンパストイレ改修工事
今出川新図書館改築等工事
待辰館耐震化工事
知真館換気設備設置工事
京田辺キャンパス デイヴィス記念館天井等改修工事
洋弓場防矢対策等、ソフトボール場フェンスオーバー対策等

事業活動収入の部	科目	予算	前年度予算	増減
	学生生徒等納付金	32,661,810	32,923,110	△ 261,300
事業活動収入の部	手数料	1,662,800	1,662,800	0
	寄付金	313,080	323,410	△ 10,330
事業活動収入の部	経常費等補助金	3,753,800	3,587,260	166,540
	付随事業収入	956,020	877,260	78,760
事業活動収入の部	雑収入	1,074,430	890,770	183,660
	繰出金(教育活動)	0	0	0
事業活動収入の部	分担金	154,370	154,590	△ 220
	教育活動収入計	40,576,310	40,419,200	157,110
事業活動支出の部	科目	予算	前年度予算	増減
	人件費	21,477,900	21,200,680	277,220
事業活動支出の部	教育研究経費	16,198,380	15,724,200	474,180
	管理経費	1,792,890	1,752,970	39,920
事業活動支出の部	徴収不能額等	19,200	14,430	4,770
	繰入金(教育活動)	0	0	0
事業活動支出の部	教育活動支出計	39,488,370	38,692,280	796,090
	教育活動収支差額	1,087,940	1,726,920	△ 638,980
事業活動収入の部	科目	予算	前年度予算	増減
	受取利息・配当金	159,710	107,580	52,130
事業活動収入の部	その他の教育活動外収入	440	440	0
	繰出金(その他)	5,600	6,880	△ 1,280
事業活動収入の部	教育活動外収入計	165,750	114,900	50,850
	科目	予算	前年度予算	増減
事業活動支出の部	借入金等利息	0	0	0
	その他の教育活動外支出	0	0	0
事業活動支出の部	繰入金(その他)	0	0	0
	教育活動外支出計	0	0	0
事業活動支出の部	教育活動外収支差額	165,750	114,900	50,850
	経常収支差額	1,253,690	1,841,820	△ 588,130

(単位:千円)

科目	予算	前年度予算	増減
資産売却差額	0	0	0
その他の特別収入	240,000	200,000	40,000
繰出金(施設設備)	350,000	350,000	0
特別収入計	590,000	550,000	40,000
科目	予算	前年度予算	増減
資産処分差額	0	398,250	△ 398,250
その他の特別支出	0	0	0
繰入金(施設設備)	0	0	0
特別支出計	0	398,250	△ 398,250
特別収支差額	590,000	151,750	438,250
予備費	260,000	260,000	0
基本金組入前当年度収支差額	1,583,690	1,733,570	△ 149,880
基本金組入額合計	△ 2,104,200	△ 1,959,690	△ 144,510
当年度収支差額	△ 520,510	△ 226,120	△ 294,390
支出準備金取崩額	760,500	690,450	70,050
支出準備金繰入額	△ 563,450	△ 463,330	△ 100,120
基本金取崩額	346,690	0	346,690
調整後当年度収支差額	23,230	1,000	22,230
前年度繰越収支差額	△ 30,143,860	△ 31,905,030	1,761,170
翌年度繰越収支差額	△ 30,120,630	△ 31,904,030	1,783,400

(参考)

事業活動収入計	41,332,060	41,084,100	247,960
事業活動支出計	39,748,370	39,350,530	397,840

2021年度大学決算は、2022年5月12日開催の大学予算委員会および大学評議会、5月28日開催の法人理事会で承認されました。

2021年度は、施設設備整備について、今出川校地においては、日本人学生と外国人学生の混住・共修環境を整えた教育推進に係る新学生寮（継志寮）の建設工事および早急に対応する必要がある各建物の耐震化対策の一環としての寧静館および育真館の改築工事を実施しました。また、京田辺校地においては、トイレ改修工事や陸上ホッケー場人工芝敷設工事を実施し、学生生活のアメニティ向上を図りました。

教学面では、ネット配信授業を円滑に実施するため、常設カメラ及び映像収録機器を増設するとともに、貸出用の大型Webカメラやデジタル4Kビデオカメラを増設するなど、充実した教育環境の構築に資する情報機器の整備を重点的に進めました。

また、2018年度から進めている「ALL DOSHISHA教育推進プログラム」では、学部および研究科が提案する質の高い教育プログラムから得られた様々な教育効果を改めて分析・共有し、本学の教育研究力の向上に役立て、次代の人物を養成するプログラムの新たな構築を進めています。さらに、科学技術が高度に発達した現代社会において、文系理系を問わず全学生に必要な教養教育として、「同志社データサイエンス・AI教育プログラム（DDASH）」の2022年度開設に向けたプログラム整備を実施しました。

研究面では、産官学連携を基軸にしたオープンイノベーションによる教育、研究及び研究成果の社会実装の推進を目的として「カーボンリサイクル教育研究プラットフォーム」を設置しました。今後、参画企業等との情報交換や技術検討のための会員制の「カーボンリサイクル技術フォーラム」を設置予定です。また、文部科学省の「科学技術イノベーション創出に向けた大学フェロシップ創設事業」及び科学技術振興機構の「次世代研究者挑戦的研究プログラム」に採択され、博士後期課程学生への経済的支援とキャリアパス確保のための取り組みを一体的に実施するための枠組みを構築しました。

学生支援面では、2021年9月から運用開始した継志寮について、共同生活を基軸とした人格形成の場という学生寮の特長を活かし、寮生は全員地域社会との連携や貢献を重視した実践活動に関与し、学習成果の発表や振り返りを通して自己の成長を確認する取り組みを実施しました。

そのほか、「同志社大学ビジョン2025」を推進すべく、「同志社大学 2025 ALL DOSHISHA 募金」を継続して実施しました。この募金は、ビジョンに掲げる6つの事業推進をはじめ、奨学事業、課外活動支援、施設設備整備等幅広い事業を対象としており、本学に関わる全てのステークホルダーに本学の教育・研究活動のさらなる充実・発展に向けての支援をお願いするもので、2025年末まで継続的に実施する予定です。

以上の通り、2021年度もこれまで同様、教育、研究、学生支援、施設設備整備の各方面に亘り、必要となる財政的支援を重点的かつ効果的に行いました。収入面では、寄付金、付随事業収入、受取利息配当金の増収により、予算よりも増収となる一方、支出面においては、教育研究に係る各事業での経常的経費の執行残などにより、予算と比較して減少となりました。

以下、事業活動収支計算書に基づき主な収支の内容について説明します。

用語解説

事業活動収支計算書

学校法人会計基準において学校法人に作成が求められている計算書類の一つで、当該年度の事業活動における収入と支出の内容とその均衡状況を表すものです。

事業活動収入

事業活動収支計算書の教育活動収支・教育活動外収支・特別収支の収入の部を合計したものです。当該年度の収入のうち、学校法人の負債とならない収入をいいます。したがって借入金、前受金、預り金などは含まれません。

事業活動支出

事業活動収支計算書の教育活動収支・教育活動外収支・特別収支の支出の部と予備費を合計したものです。人件費、物件費、減価償却額、借入金利息など当該年度に消費する支出です。

基本金

基本金は、学校法人の活動計画に基づき必要となる資産を事業活動収入から組入れて継続的に保持するもので、自己資金により取得した固定資産の価額に対応する第1号基本金、将来取得する固定資産に充てるための第2号基本金、運用果実により教育研究活動を進めるための基金である第3号基本金、恒常的に保持すべき運転資金である第4号基本金から成ります。事業活動収支計算書では、当年度に組入れる額が「基本金組入額合計」で表示されています。

I. 教育活動収支

学生生徒等納付金は329億円で、事業活動収入に占める割合は約78%と大きな比重を占めています。

手数料は17億円で入学検定料が主なものです。

寄付金は5億円で、同志社大学 2025 ALL DOSHISHA募金、研究助成への奨学寄付金、寄付教育研究プロジェクトなど教育研究活動への寄付金を受入れました。

経常費等補助金は34億円で、国庫補助金が主なものです。この大部分を占めるのが私立大学等経常費補助金で、一般補助20億円、特別補助2億円を受け入れた他、授業料等減免費交付金として10億円を受入れています。その他の国庫補助金では、研究者が共同で研究を行う体制を整備した大学へ助成される、共同利用・共同研究拠点形成事業費補助金などを受入れました。

付随事業・収益事業収入は11億円で、企業からの共同研究費・受託研究費などの受託事業収入、学生寮の寮費などの補助活動収入が主なものです。2021年度はこれに加え、ワクチン職域接種に係る収入を受け入れました。

雑収入は7億円で、私立大学退職金財団からの交付金収入や施設設備利用料収入が主なものです。

繰出金は、法人内各学校からの資金調達額の返済額が主なものです。

分担金は2億円で、法人業務に係る法人内各学校の負担分です。

教育活動収入計は404億円で、ほぼ予算通りとなりました。

人件費は207億円で、事業活動収入に対して約49%となりました。

教育研究経費は151億円で、経常的な教育研究活動に要した経費です。

管理経費は20億円で、大学の維持管理に要した経費です。

その他の支出を加えた**教育活動支出計**は378億円となり、予算に対して9億円の減少となりました。

学校法人の本業である教育研究事業の収支である、**教育活動収支**は、26億の収入超過です。

II. 教育活動外収支

教育活動外収支は、主に財務活動の収支区分で、受取利息・配当金の計上等により、3億円の収入超過です。

教育活動収支差額と教育活動外収支差額を合わせた**経常収支**は29億円の収入超過です。

III. 特別収支

特別収支は、特殊な要因によって一時的に発生した臨時的な事業活動収入及び事業活動支出で、9億円の収入超過です。施設設備に係る寄付金及び補助金、現物寄付、法人内資金調達に係る貸付額及び返済額、本年度除却の固定資産に係る資産処分差額並びに過年度修正額が該当します。

IV. 基本金組入額および収支差額

基本金組入前当年度収支差額は38億円の収入超過となります。

基本金組入額は学校法人がその諸活動の計画に基づき必要な資産を継続的に保持するために組み入れる額で、33億円を組み入れます。今後の資産取得に向けての第2号基本金の組入れが主なものです。

基本金組入前当年度収支差額から基本金組入額を控除した当年度収支差額は4億円の収入超過となります。

支出準備金取崩額は6億円で、使途が特定された準備金の取崩額などです。

支出準備金繰入額は21億円で、使途特定寄付金、研究費および大規模建設事業などの予算繰越額を決算において繰り入れたものです。

基本金取崩額は27億円で、固定資産取得価額を上回る除却分です。

当年度収支差額に支出準備金取崩、繰入、基本金取崩額を加えた**調整後当年度収支差額**は、17億円の収入超過となります。

なお、**累積収支差額**として302億円の支出超過額を翌年度に繰り越すこととなります。



2022 July

「ゼミで学ぶ 魅力を語る」

幅広い領域の専攻から数多くのゼミがある本学。

それぞれ、どんなことを学んでいるのか。

ゼミ教員が、個性豊かなゼミの魅力を語ります。

健全な フォロワーシップの探求



社会学部
教授

まつやま かずき
松山 一紀 ゼミ

Kazuki Matsuyama

当ゼミでは、フォロワーシップを中心に、健全な組織行動について探求しています。フォロワーシップとは、ただ指示命令に従うだけではなく、自ら自律的に考え行動することを指しています。従って、

当ゼミでは理論や方法だけでなく、特に実践を重んじています。企業などの労働組織とともに、組織の課題をフォロワーシップの視点で読み解いていくのが当ゼミの目的です。労働現場の実態から導き出された課題を仮説として指定し、それを質問紙法によって検証していくという取り組みを行っています。

まず学生たちは、統計解析を用いた分析方法について学びます。その後、企業の方のお話を伺いながら、仮説を立てていきます。必要な知識は走りながら得ていくといった感じでしょうか。質問紙を完成させた後は、現場で働いている従業員の方を対象に実査です。得られたデータは遺漏のないように大切に扱い、分析していきます。どうしてこのような結果になったのか。先行研究や現場実態とにらめっこをしながら検討していくことで、

学生たちは急激に成長していきます。最後は、これらを資料としてまとめ、協力企業に対して報告をします。限られた時間のなかで、一定の結果を出すというの一連の流れは、今後の社会生活においても大いに役立つと信じています。

ゼミ生の声（白築 茉莉さん）

私たちのゼミでは、働く事を学ぶ産業関係学と組織内の人間行動を探索する組織行動学を掛け合わせ、企業や部活動を始めとする「組織に属する人の心理面」について理解を深めています。具体的には、フォロワーシップ論やリーダーシップ論、また近年のトレンドであるエンゲージメントなど、学生に身近な組織から社会生活で活かせる領域まで幅広く扱っています。さらに特徴的なのは、実証研究を重視している点です。文系には珍しい企業との共同研究を通じて、得た知識を自分なりにアウトプットすることができ、普段意識することは少ないと思いますが、誰しも何かしらの組織に属しています。私たちは、そういった組織とそこに属する人に目を向け理解することで、組織に対して内部から貢献できる人材になることを目指しています。

分子を

「つくる」「はかる」「よそくする」



生命医科学部
教授

おおえ ようへい
大江 洋平 ゼミ

Yohei Oe

私のゼミでは、太田哲男教授と中村祐士助教と協力して、有機分子を自在に「つくる」、生体にかかわる有機分子を「はかる」、コンピュータを駆使して有機分子の性質を「よそくする」ための研究を行っています。これらの研究を通して「医薬品等の開発、医療や生命科学の発展に貢献すること」が私たちのゼミの目的です。

ゼミでは最初に、「今日から教員と学生の関係ではなく、共同研究者の関係になりましょう」と伝えます。これは「卒業研究」というものを、単位を取得するためだけに、私たちの顔を伺いながら取り組むつまらないものにするのではなく、私たち教員と協力しながら有意義で楽しいものにしてもらいたいという意図を明確に示すためです。また、得られた研究成果を学会や論文として発表し、世界に名前を残してもらいたいということも伝えます。研究テーマが決まると、わからないなりに「人の研究者として実験に取り組み共同研究者とともに」「喜ぶしながら研究を進めていきます。その実践的な環境の中で、自分に足り

ない知識や技術を補い、実験のデザインの仕方などを習得していきます。個人差はありますが、研究が進むにつれて技術や知識は向上し、研究への姿勢も前向きになっていくように感じます。春には素人同然だったのに夏ごろには学会で発表していたり、ディスカッションの中で「次は…してみます」という明確なアイデアを示してくれることも心強くなります。そのような成長を見せるゼミ生の確かな足跡を残すべく、今日も彼らと緒になって見えない分子を眺め、新しいサイエンスを探しています。

ゼミ生の声

（無記名アンケート調査結果の二部）

研究のおもしろいところ：「自らの手で、既存の物質を組み合わせることで未知の物質を創りあげることができる」と「新規有機化学物の合成を自分の手でできる」と。簡単には合成できないからこそ面白い。また自分の合成したものを使っているような研究展開ができるところも魅力の一つだと思います」

ゼミの特色：「先生との距離が近く、いつでも専門家の意見が聞けること」「成長実感」「研究が上手いかわなくても諦めずに挑戦することが出来るようになった」

Seminars

learning objects of

歴史を体感する学び

私のゼミでは、キリスト教をはじめとする宗教の歴史を取り上げ、その事象や思想について研究します。テーマの選定においては学生の関心を何よりも重視し、それを研究として深めていく方法をともに探りつつ、最終的には独自の研究を展開し、完成させることを目的としています。自分の立てた問いを解明することは学生たちにとっても面白いようで、こちらが想像しなかったような新鮮で柔軟な発想をもつて、ユニークで優れた成果を上げることが少なくありません。

ゼミでは、資料にあたつて分析や考察を行うだけでなく、フィールドワークを通じて言葉の背景にある宗教の営みや歴史を感じてもらうことも大切にしていきます。この春休みには、京都の大原に赴き、仏教や神道の歴史と現在を学びました。その地に着くと、まず担当者がそのお寺や神社の歴史を解説します。その後、自由に見学をして歴史を体感し、今日まで続く宗教の営みやその本質について考察を行いました。京都は、キリシタン以来のキリスト教の史跡も



神学部 教授

むらかみ

村上 みか ゼミ

Mika Murakami

多く、宗教の歴史の宝庫です。

私自身の専門はヨーロッパの宗教改革史で、学生とともにその地を訪れるのは難しいのですが、秋学期にデューピング大学(ヨーロッパ・スタディーズ E.U. キャンパスプログラム)で「ヨーロッパの宗教・ドイツ・キリスト教の歴史と思想」を担当し、そこで中世の教会建築や長い伝統をもつドイツの教会音楽、またナチスの爪痕などに直に触れて、「歴史を体感する」学びを計画しています。

自らの疑問を、知的思考と感性をもつて解明してゆく学びは、人生を強く生き抜く力を与えてくれると確信しています。

ゼミ生の声

(無記名アンケート調査結果の一部)

「自由に研究テーマを設定することにより、自分が本当に知りたいことを深く掘り下げることができ、学ぶ楽しさを感じた」「毎週のディスカッションを通じて問題意識や研究を共有し、その中で自分の研究を俯瞰的に見つめ直すことが、研究の成果につながった」

エビデンスに基づいた効率的な運動トレーニング方法の確立に向けて

私のゼミでは、実験的根拠(エビデンス)に基づいたヒトへと還元・応用できる効果的、効率的な持久的運動トレーニング方法の確立に挑戦しています。私が特に着目している視点は、筋肉や肝臓、腎臓などの競技パフォーマンスへの関与が大きい臓器において、考案した運動トレーニングによって生体機能を担うタンパク質がどのようにはたらき、タンパク質を設計する遺伝子などのように発現し、その結果として身体機能や実際の競技パフォーマンスにどのような変化をもたらすのかということになります。細胞や組織レベルでの反応を検証することで、考案した運動トレーニングがどういった効果をもたらすのかを推測でき、トレーニング効果を獲得できたメカニズムにも迫ることができます。

普段のゼミでは、スポーツ生化学・分子生物学という学問領域の中でゼミ生自身の興味あるテーマを見つけてもらい、そのテーマに関わる発表やディスカッションを行ってもらっています。専門領域の知識を身につけながら、



スポーツ健康科学部
准教授

たかくら

ひさし

高倉 久志 ゼミ

Hisashi Takakura

情報収集、文章執筆、プレゼンテーションなどといった能力を磨き、ゼミ活動の集大成である卒業論文の完成を目指していきます。このようなゼミ活動や卒業論文を作成していく過程で身につく力というのは、卒業後にも役に立つことが多いと考えていますし、その効果は真剣に取り組みれば取り組むほど大きくなると思っています。私はそういった取り組みがしやすい雰囲気作りを心懸け、ゼミ活動を通じて、少しでも次のステージで活躍するための礎を身につけてもらえればと思っています。

ゼミ生の声(八木 遼介さん)

小中高と自分自身がサッカーに打ち込む中で常に考えていた「トレーニング」と「運動パフォーマンス」の関係を、生化学という学問として探究したく高倉ゼミに興味を持ちました。例えば、よく知られている「高地トレーニング」にもプラス面だけではなく、マイナス面があることを学びました。また、ゼミの雰囲気はとてもアットホームで先生も、緒になりみんなでスポーツの話題で盛り上がりつつあります。高倉ゼミでの学びで、「スポーツ」のもう一つの面白さを知ることができました。



INFORMATION

4

2022 July

本学教員の 執筆図書紹介

(価格は税込)

日本のバイアウト・ファンド
野瀬義明 著 中央経済社 4,180円

商標法コンメンタール 新版
井関涼子 山根崇邦 他著
勁草書房 16,500円

刑事法学の系譜
川崎友巳 他著 信山社 17,600円

新注釈民法 8 債権 1
荻野奈緒 他著 有斐閣 10,120円

海を渡って何を食べるのか
和泉真澄 他著 文理閣 3,300円

**基礎から学べる
金融商品取引法 第5版**
釜田薫子 他著 弘文堂 2,420円

「下から」歴史像を再考する
小川原宏幸 他編著 有志舎 9,460円

保険法 下
山下友信 著 有斐閣 6,050円

刑法演習ノート 第3版
十河太郎 他著 弘文堂 3,300円

遺留分 第3版
神谷遊 他著 日本評論社 6,380円

統計調査法
鄭羅軍 著 共立出版 3,960円

1からのマーケティング分析 第2版
富田健司 他編著 碩学舎 2,640円

**高橋則夫先生
古稀祝賀論文集 上巻**
川崎友巳 十河太郎 松原久利 他著
成文堂 22,000円

**高橋則夫先生
古稀祝賀論文集 下巻**
洲見光男 他著 成文堂 22,000円

キリスト教神学命題集
村上みか 他監修
日本キリスト教団出版局 3,520円

マクロ経済学の視点 第3版
北川雅章 新関三希代
辻村元男 東良彰 他著
八千代出版 3,190円

百年目の『ユリシーズ』
下楠昌哉 他編著 桐山恵子 他著
松籟社 3,300円

固体表面キャラクターゼーション
竹中壮 他著 講談社 4,180円

スポーツ事故の法的責任と予防
川井圭司 他著 道和書院 2,640円

**コロナ時代の
仕事・家族・コミュニティ**
齋田竜蔵 他著
ミネルヴァ書房 5,500円

伝達と創造
小野文生 他著 能登印刷 寄贈

近世東地中海の形成
堀井優 著
名古屋大学出版会 5,940円

アメリカの奴隷解放と黒人
落合明子 白川恵子 訳
明石書店 3,850円

言語研究の世界
瀧田健介 他著 研究社 3,630円

縮小社会における法的空間
横田光平 他著 日本評論社 7,700円

国際民事手続法
高杉直 他編著 勁草書房 2,970円

過渡現象論
馬場吉弘 著 数理工学社 2,035円

**日本企業に入社した
外国人社員の葛藤**
鈴木伸子 著 ココ出版 3,960円

**社会福祉学習双書 2022 第8巻
地域福祉と包括的支援体制**
永田祐 野村裕美 他著
全国社会福祉協議会 2,970円

**社会福祉学習双書 2022 第9巻
ソーシャルワークの基盤と専門職**
空閑浩人 他編著
全国社会福祉協議会 2,420円

**社会福祉学習双書 2022 第10巻
ソーシャルワークの理論と方法**
空閑浩人 他編
全国社会福祉協議会 2,750円

**ソーシャルワークの
理論と方法 I**
空閑浩人 他編著
ミネルヴァ書房 3,080円

近代の部落問題
小林丈広 他著 解放出版社 6,600円

アジアの平和とガバナンス
中西久枝 他著
有信堂高文社 3,300円

少子高齢化のなかの福祉政策
郭芳 楊慧敏 他著 明石書店 3,300円

**格差と不利 /
困難のなかの福祉政策**
廣野俊輔 楊慧敏 他著
明石書店 3,300円

文明と覇権から見る中国
浅野亮 他著 ウェッジ 3,740円

**ナイチンゲールは
なぜ戦地クリミアに赴いたのか**
玉井史絵 他著
日本看護協会出版会 2,200円

知的財産権訴訟の煌めき
井関涼子 他著
金融財政事情研究会 16,500円

オーストラリア倒産法
金春 他著 弘文堂 5,500円

図説世界の地域問題100
二村太郎 他著
ナカニシヤ出版 2,970円

**スタンダード社会科学系の
統計学**
鄭羅軍 著 培風館 2,420円

ミーニング
小島秀信 他訳
ミネルヴァ書房 4,950円

室町幕府將軍列伝 新装版
山田徹 他著 戎光祥出版 2,970円

戦争と日本アニメ
佐野明子 他編著 青弓社 2,640円

現代経済法の課題と理論
瀬領真悟 他著 弘文堂 13,200円

共振する帝国
板垣竜太 他訳 岩波書店 4,950円

美学の数理
落合仁司 著 晃洋書房 2,090円

まちづくりの統計学
多田実 他編著 学芸出版社 2,750円

知っておきたい和食の文化
AYSUN UYAR 他著
勉誠出版 3,080円

**コロナ禍の下での
学生の学びと大学の役割**
津田博史 他著
ウインかもがわ 1,100円

**自然災害科学・防災の
百科事典**
立木茂雄 他著 丸善出版 26,400円

知的財産法制と憲法的価値
山根崇邦 他著 有斐閣 7,480円

愛の讃歌としての経済
浜矩子 著 かもがわ出版 1,760円

**SDGsの経営・事業戦略への導入と
研究開発テーマの発掘、進め方**
大窪和也 他著
技術情報協会 88,000円

日本文学の見取り図
西川貴子 他編著
ミネルヴァ書房 3,080円

パナソニックのグローバル経営
上田眞士 他編著 樋口純平 他著
ミネルヴァ書房 9,350円

**ケースブックコストマネジメント
第3版**
加登豊 他著 新世社 2,805円

**受容と創造における
通態的連鎖**
伊藤玄吾 他著 新典社 5,170円

パラゴーネ
清瀬みさを 他著
中央公論美術出版 6,600円

トランプvsバイデン
村田晃嗣 著 PHP研究所 1,089円

**戦後京都の「色」は
アメリカにあった!**
佐藤守弘 他著
京都府京都文化博物館 1,320円

論点・東洋史学
森山央朗 向正樹 城地孝 他著
ミネルヴァ書房 3,960円

実践埋蔵文化財と考古学
水ノ江和同 著 同成社 1,980円

現代広告全書
河島伸子 他著 有斐閣 2,750円

「室町殿」の時代
山田徹 他著 山川出版社 1,980円

経験論の多面的展開
新茂之 他編著
大槻晃右 小川雄 下嶋篤 他著
萌書房 3,300円

**民事裁判ICT化論の
歴史的展開**
川嶋四郎 他著
日本評論社 8,800円

同志社人 訪問



NHK「奇跡のレッスン」など質の高いドキュメンタリーを制作し続けている映像ディレクターの本田大さん。演劇サークル「第三劇場」所属の、村側晃太郎さんが、大学生活の様子や表現者としてのこだわりなどについて聞きました。

国際エミー賞子どもノンフィクション部門ノミネート
ワールド・メディア・フェスティバル 教育部門金賞

本田 大さんに

Dai Honda

映像制作に熱中した学生時代
それがきっかけでいろいろな
繋がりが生まれた

村側 よろしくお願ひします。本田さんは僕の英文学科の先輩なんですが、学生時代はどのように過ごされていたのでしょうか。

本田 英文学科ではありませんが、英語力が足りず希望していた留学生枠に入れなくて挫折しました(笑)。小さい頃から映像の仕事に関わりたと思っていて、大学3年次から

学内外でカメラを回し続けていました。それが「おもしろそうなことをしている奴がいる」と友人づてで噂が広がり、映像制作バイトの打診を頂くなど、いろいろな繋がりが生まれました。毎日が楽しかったですね。

村側 映像の仕事に関わりたと思ったきっかけは何ですか？

本田 両親が映画好きで、よく茶の間で家族そろって見ていたんです。そうしているうちに映画やテレビ、CMの編集方法が気になり始めて、「レポーターが歩き出す前、なぜこの「間」が必要なんだろう?」とか。

聞く



ほんだ だい
本田 大さん

—2005年文学部卒業—



むらがわ こうたろう
村側 晃太郎さん

文学部英文学科
4年次生
演劇サークル「第三劇場」所属

村側 何歳ごろのことですか？

本田 小学4、5年生ごろです。その後、同志社香里中高で6年間過ごしたんですけど、卒業後の進路を決めるとき、映像系の大学の進学も考えました。でも同志社のことですごく好きになっていて、このまま香里の仲間と一緒にいたいと思い、同志社大学に進学しました。

映像づくりの全工程に携われる それがディレクターのやりがい

村側 ということから、同志社の方が好きになったのですか？

本田 出会いに恵まれたことが、同志社が好きな理由ですね。中高のとき、人と違うことがしたくて器械体操部に所属していました。ある日の部活帰り、同い年の仲間に「俺は将来、映画の監督になりたいねん」と打ち明けると「俺は宇宙飛行士になりたい」と返してくれました。同志社香里で夢を語り合える友達に出会えたことは、本当に幸せでした。大学進学後も、大きな夢を持つ仲間とたくさん出会え、その後の人生の励みになりました。

村側 その同級生の方はいまは……。

本田 自動車メーカーでF1エンジンの研究開発に携わっていますが、今年あった日本人宇宙飛行士の募集に応募していましたよ。

村側 すごくですね。いまでも夢を追い続けているんですね。一方、本田さんは大学卒業後、夢だった映像関係の仕事に就いて、MBS「世界ウルルン滞在記」のアシスタントなどを経て、

「自分らしくいられる道を 進んでいけば、乗り越えていける」



NHK「奇跡のレッスン」で国際的な賞を取るなど活躍されているのですが、映像ディレクターとして、どういうときにやりがいを感じますか？

本田 ディレクターは、企画立案から仕上げまで、映像づくりの全工程に携わることができるので、「自分の番組をつくっている」という実感が得られるところに、やりがいを感じます。やりがいがあるから続けていられるというか、それがないとやっていられないくらい辛いことも多いです。

村側 どういうことが辛いのでしょうか？

本田 現場でよい撮影ができていないのに、よい編集にならないときが一番きついですね。要するに、僕が楽しんでいること、感動していることが、編集プロセスにおいてうまく伝えられないとき。放映前の試写は少なくとも2回、多いと5、6回します。そこで、プロデューサーに大事だと思っている場面をカットされることも同じように辛いです。責任者の一人として、エンドロールに名前がクレジットされるので、自分が伝えるべきだと信じていることをうまく表現できるよう、日々戦っています。

撮影前に徹底的に下調べ 取材対象者に寄り添う

村側 ドキュメンタリーを制作する際に、常に心掛けていること、注意されている点はありますか？

本田 ドキュメンタリーをつくるということ自体、非常におこがましい行為だと感じてい

ます。突然、他人の心に土足で入り込んで「あなたの人生について話してください」とカメラを回しながら聞くんですから。それに編集作業では、ひとつのカットの置き場所を変えると、違う意味合いになりかねません。ですから、できる限り取材対象者に寄り添うことを心がけています。撮影前の下調べは徹底的にしますし、その人が本当に伝えたいことは何か、最大限に理解するように努めます。取材させていただいた方に、「この人に取材してもらってよかった」と少しでも思ってもらえるような番組作りを目標としていますね。

ドキュメンタリーとは何か？ それを一生問い続けていく

村側 僕は同志社大学で、「第三劇場」という学生演劇サークルに所属していて、舞台芸術を手がけるかたわら、役者として舞台上に上ったりしているんですけど、本田さんと似たような気持ちを感じることがあります。たとえば、原爆劇をやってみたいという気持ちはあるものの、被爆3世でもない僕が脚本を書いたり、演出したりしてよいのか？当事者でない自分がそれをするのは不意意な、おこがましいことではないか？と感じたりします。当事者性にどう向き合えばよいのか、ずっと考えていても、答えが出ないまま踏み切れずにいます。

本田 村側さんのように、「どうしたらいいのだろう」と考え続けることが、表現者として大

事だと思っんですよね。僕も、「ドキュメンタリーとは何か」と一生問い続けていくことになると思っています。

村側 これから先もずっと映像の仕事に携わっていくということですか？

本田 ドキュメンタリーにはずっと携わってきたいと思っています。それと、子どもが好きなので、何か子どもに関することを、テレビ以外の表現方法でやってみたい気持ちもあります。村側さんはどういった進路を目指されていますか？

村側 それがまったくまだ決まっていなくて……俳優養成所に入って役者を目指すか、舞

台芸術の方にいくか、それとも一般企業に就職するか、迷っています。

本田 許される環境にあるなら、好きな道を進んでいいと思いますよ。進んだ先で見えてくるものがあります。僕だって、辛くて編集室で泣いたこともある。ただたとえ辛くても、自分が自分らしくいられる道を進んでいけば、乗り越えていけると僕は信じていますよ。

村側 とても励みになります。今日は、ありがとうございました。



今回の同志社人

Profile 本田 大さん

1982年、京都市生まれ。同志社香里中学校・高校で学んだあと、2001年に同志社大学文学部に進学。05年に卒業後、映像制作会社「テレビマンユニオン」に参加し、09年、「証言ドキュメント 日本サッカーの50年」(NHK)でディレクターデビュー。以降、映像ディレクターとして、テレビ番組に限らず様々な映像コンテンツ制作に関わる。「奇跡のレッスン フィギュアスケート編」が、17年、米国テレビ界のアカデミー賞と称されるエミー賞の国際版において部門最終ノミネートされるなど、国際的にも高い評価を得ている。

取材を終えて

本田さんは映像制作で僕は学生演劇とジャンルは違うものの、同じように表現に携わる者として、たとえば、SNSを介して直接お客さんから反応をもらえることが一番うれしいとか、一度制作して公開すれば、それはお客さんのものであり、どう解釈するかはお客さん次第だという話など、共感できる部分が多くありました。ふだんの大学生活では経験できない、クリエイティブな仕事に関わる方のお話を聞くことができ、とても貴重な経験でした。本田さんのように、自分のやりたいことをはっきりと自覚し、正直でいることが、自分に一番欠けている部分だと実感しました。これから演劇を続けたいのか、答えが見出せていない中、本田さんのお話を聞くことで、考え続ける過程を楽しめばよいのだと思えるようになったのが、一番の収穫でした。進路を考える上で、強く背中を押していただき、感謝の気持ちでいっぱいです。

Interviewer 村側 晃太郎さん



文学部英文学科
4年次生
演劇サークル
「第三劇場」所属

高校時代、洋楽に親しんだことをきっかけに文学部英文学科に入学。英語圏の現代演劇に関心があり、アメリカ文学について学んでいる。大学入学後、演劇活動を本格的に始め、演劇サークル「第三劇場」に所属。

My Purpose 挑戦する人

おおしま たいしん
大島 泰真さん
スポーツ健康科学部
1年次生

身長168cm、体重74kgとラグビー選手としては小柄だが、「だからこそ出来る仕事がラグビーにはある」と個性を強みに、チームに貢献する。高校時代は司令塔として花園を沸かせた。

重要なのは 伝えることより 伝わること

同志社大学ラグビー部に、

期待のルーキーが加わった。ポジションはスタンドオフ(SO)、戦術を立て、チームを動かす司令塔だ。ラグビーを始めたのは小学2年生の時。父に連れられ、伯父が主宰するラグビースクールに顔を出している。と、「1対1をしてみろ」と急にボールを渡された。そこで大島さんは、小学5年生の相手からトライを決めてしまう。「うまく乗せられたんでしょね(笑)。知らない間にスクーラ生になっていました」。以来ラグビーに打ち込むようになり、中学校でも目立った活躍をした大島さんは、ラグビー強豪校、京都成章高校からスカウトされる。1年時からレギュラーを張り、在籍した3年間全てで花園切符を手にした。2年時は準優勝、キャプ

テンとして迎えた3年時はベスト8という成績を残す。そんな大島さんがプレーする上で心掛けていることは、グラウンド内外でのコミュニケーションだ。「高校のラスト1年間、キャプテンをさせてもらったのですが、人と話すのが本当に苦手。でも自分はキャプテンでSO。いくら背中が引つ張ると言っても限界がありますよね。先生(恩師)からもずつと、『しっかり伝えるように』と言われ、そこは意識して改善に努めてきました」。大島さんがそうした指導を繰り返し受けたのは、話すのが苦手という理由だけではない。小学生の頃からBS・CS放送で海外ラグビーを観て研究してきた大島さんは、ラグビーに関する知識量がずば抜けていた。つまり、大島さんが当たり前と考えるベースが高過ぎて、伝わりづらい状況にあったのだ。「重要なのは、伝えることより伝わること。まずはラグビーを観てくれと、海外リーグのチャンネルや動画を紹介し

ました。そしたら観てくれて、『このプレーは何?』『こういう時はどうするの?』とか、いろいろ質問する人も出てきて。ミーティングを重ねるうちに理解度が深まり、どんどん伝わるようになっていきました」



小学生ラグビースクール「Kiwi'sラグビークラブ」でディフェンスを振り切る大島さん



キャプテン経験が 自分を変えた

インタビュー動画も
チェック

